

御油小「校長室より」3学期学校の風景 7



【PTA 主催 桜の植樹 2月22日】

御油小学校と国府小学校の6年生が「ふるさと公園」に集まり、合同で桜の苗木を植樹しました。この素敵な取り組みは、両校のPTA会長さんによる「子どもたちが中学校で出会う前に、少しでも交流できる機会を」という温かい発案から実現したものです。当日は自由参加という形でしたが、たくさん子どもたちと保護者の皆様が駆けつけてくださいました。これから同じ中学校へ通う仲間として、共に土をかけたり、言葉を交わしたりしながら作業に励む姿は、見ていて本当に微笑ましい光景でした。

この植樹活動は、これからも毎年少しずつ続けていく予定です。今日植えた小さな苗木が、子どもたちの成長とともに少しずつ大きくなり、ふるさと公園が満開の桜でいっぱいになる日が今から待ち遠しくてなりません。卒業を前に、学校の枠を超えて手を取り合ったこの経験が、子どもたちの新しい門出を祝う温かな思い出となってくれることを願っています。企画・運営に携わってくださった役員の皆様、そして参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。



【3年生 松並木についてのお話を聞く会 2月27日】

松並木愛護会会長の天野さんをお招きし、3年生に向けた「松並木についてのお話を聞く会」を開催しました。先日行った松並木の散策、そして資料館見学に続く、学びのステップ「第3弾」となります。

子どもたちは、これまでの実体験や見学で得た知識をもとに、「なぜこの松並木が今も残っているのか」「守るためにどんな工夫をしているのか」など、自ら抱いた疑問を次々と天野さんに投げかけていました。ただお話を聞くだけでなく、これまでの学習で蓄えてきた「知りたい!」という意欲を一生懸命に言葉にする姿に、子どもたちの確かな探究心の芽生えを感じ、とても頼もしく思いました。

天野さんは、そんな子どもたちの熱意を優しく受け止め、一つひとつの質問に対して、地域への深い愛情が伝わる温かな言葉で丁寧に答えてくださいました。地域の宝を最前線で守り続けていらっしゃる方の生きた言葉に触れることで、子どもたちにとって、松並木がより身近で、より大切な存在へと変わっていく様子が伝わってきました。この三段階の学びを経て、子どもたちがこれからどのように自分たちの町の宝物を捉えていくのか、今後の学習がますます楽しみになりました。



【6年生を送る会 3月4日】

6年生を送る会を開催しました。会場となった体育館は、卒業を間近に控えた6年生への感謝とお祝いの気持ちに包まれ、春の陽だまりのような温かい空気が流れていました。在校生たちは、これまで優しく下級生をリードしてくれた6年生に「ありがとう」の思いを届けようと、各学年で工夫を凝らした出し物を披露しました。歌やダンス、思い出を振り返るメッセージなど、どの学年の発表も6年生への愛情がたっぷりと詰まっていました。

この会を企画し、当日の運営を一手に引き受けてくれたのは5年生です。事前の準備から進行まで、自分たちの力で会を成功させようと奔走する姿からは、次期リーダーとして御油小学校を支えていくという強い自覚と頼もしさを感じられました。6年生にとっては、この6年間の歩みを懐かしく振り返るとともに、在校生からの力強いエールを真っ直ぐに受け止める大切な時間となったことでしょう。下級生たちの思いを胸に、中学校という新しいステージへ向けて、希望を持って一步踏み出そうとする晴れやかな表情がとても印象的でした。6年生の皆さん、この学び舎で育んだ絆と自信を糧に、中学校でも自分らしく輝いてください。皆さんの新しい門出を、在校生、職員一同、心から応援しています！



5年 みんながみんな英雄



1年 カリスマックス!!



2年 好きすぎて滅!!



3年 世界がひとつになるまで



4年 ドラえもん